

茅葺きの今とこれから

阿部洋平

(淡河かやぶき屋根保存会くさかんむり)

《はじめに》

私たちは茅葺き屋根を通して、普段、人と自然、都市と農村、昔と今など繋がりが希薄になってしまっているものの、新しい関係性を築いていくことを目指して活動しております。

具体的には、神戸市北区まちづくり推進課や神戸市教育員会文化財課などと協同したりしながら、茅刈りや屋根葺き体験のワークショップ、かやぶき屋根の工事現場見学会や、かやぶき民家を活用したイベントなどを企画実施しています。

そこで感じるのは、茅葺きに興味がある人、茅葺きに触れて喜んでくれる人、茅葺きの未来に関わってくれる人などがたくさんいるということです。

そんな夢があふれる茅葺きのことを、もっと知ってみてください。

神戸には茅葺きがいっぱい！！

神戸市には北区を中心に約750棟以上の茅葺き民家（トタン葺きも含む）があるんです。淡河町には最近の調査でも200棟以上も残っていることが分かりました。街に近い茅葺きとしては全国有数です。もっと身近に感じてもらえたらうれしいと思い活動しています。



茅葺き危機!!① 茅がない？ いや、茅（ススキ）は着実に増えてます!!

今は全国的に茅を増やしていこうという取り組みが盛んになってきました。

神戸でも淡河を始め八多や藍那でも、大規模な活動としては東お多福山のススキ草原回復活動があり、県内では三木山森林公園や高原各地などでも様々な取り組みがされています。



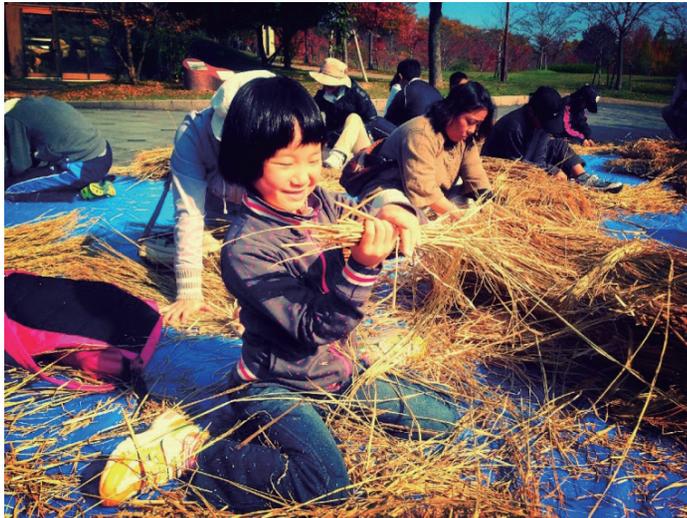
茅葺き危機？②職人がいない？いや、若手世代も新たに増えてます!!

全国的に茅を増やしていこうという取り組みが盛んになってきました。神戸でも淡河を始め八多や藍那でも、大規模な活動としては東お多福山のススキ草原回復活動があり、県内でも三木山森林公園や高原各地などでも様々な取り組みがされています。



楽しい取り組みをいつも！

ススキで秘密基地を作ってみたり、稲わらで小屋を作ってみたり。子どもたちが自然の素材に触れて見て楽しんで。そういう体験を親やお友達としていくことで、茅葺きの持つ温かみやなんとなく和むような良さを感じて貰えるように毎年いろんな場所で沢山のの人たちとイベントをしています。



海外にも茅葺きはありますよ！

茅葺きは日本だけのものではなく、現在も世界中にあります。しかも「古民家」と呼ばれるようなものではなく、バリバリの現役で日常生活に溶け込んでます。オランダなどは茅葺きの先進国といえるほど、法整備などが進み柔軟な対応で素敵な建物なども多く新築されています。



茅葺きの未来は明るく広がる

日本でも、今は古民家の活性化など茅葺きを取り巻く環境が大きく変化しつつあります。私たちは縄文時代から続くこの素晴らしい屋根をきちんと受け継ぎ、次に繋げていきます。そうしながらまた、形式に捉われず日本らしい新しいものも創りたいと思っています。

